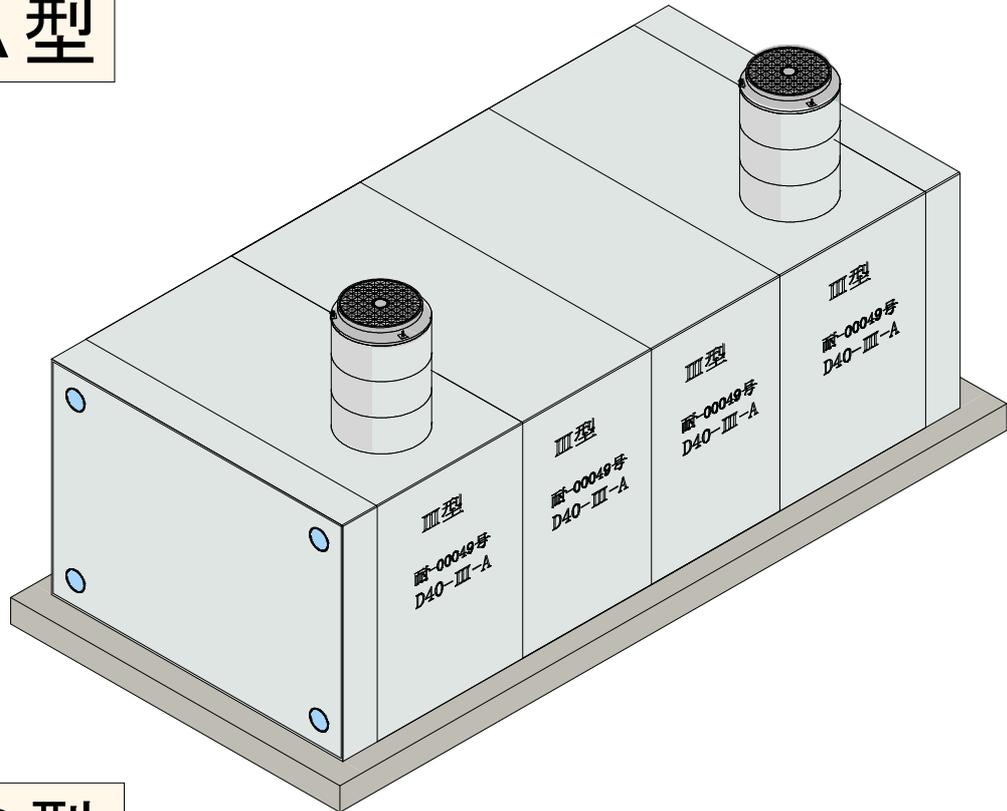


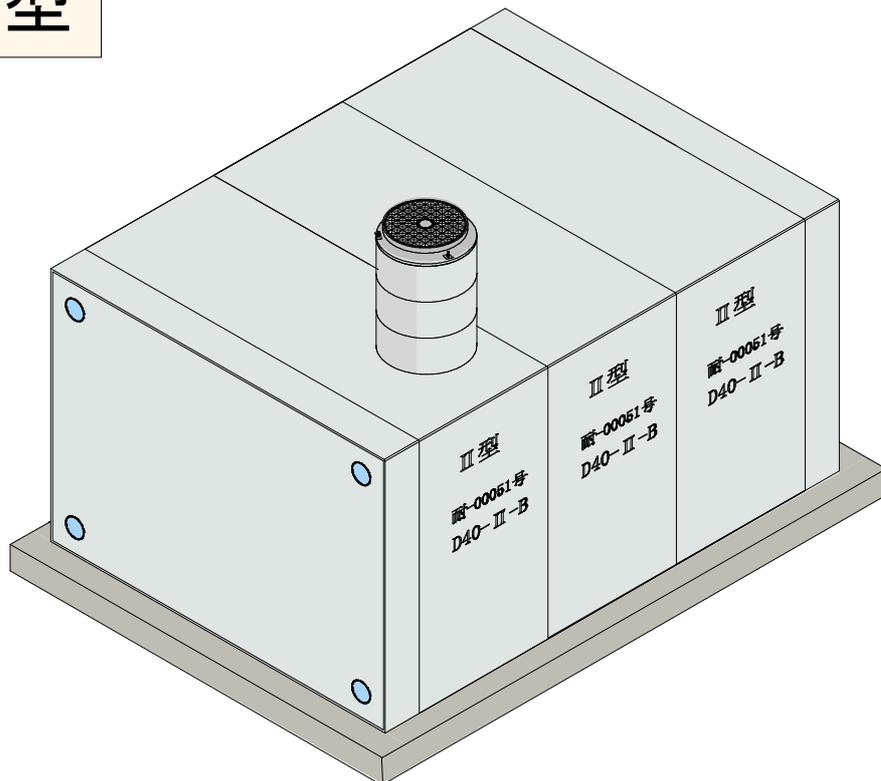
二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

A型



B型

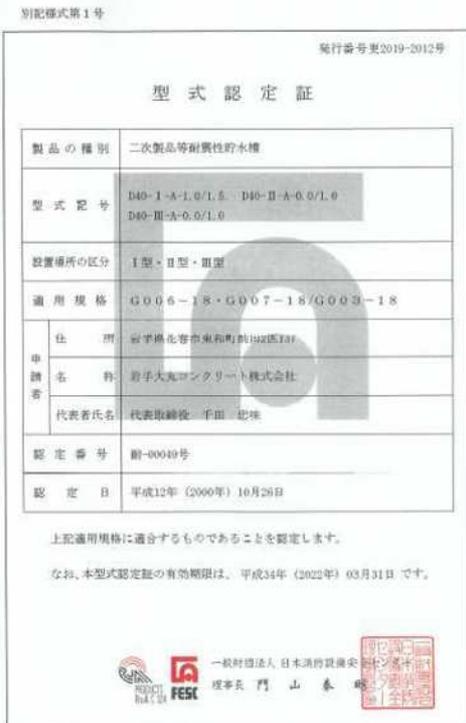


二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

- **優れた防水性。**
 接合部に水密性の高い水膨張ゴムを使用、内側には、コーティング・コーキング・ライニングによる三重の防水加工が確実な防水性能を発揮します。
- **耐震性に優れています。**
 個々の部材はもとより、槽全体に対し耐震設計がなされ地震時の衝撃にも十分な安全性を確立しました。
- **工期の短縮。**
 現場作業に依存する部分が少ないので、大幅な工期の短縮が出来ます。
- **施工・管理が容易。**
 寸法、強度が保証された工場製品のため、施工管理が容易かつ確実です。
- **バリエーション〈防火貯水槽以外の用途〉。**
 冷却水槽、雨水貯留槽、蓄熱槽、飲料水槽、ポンプ槽、地下室、流水調整槽、等。

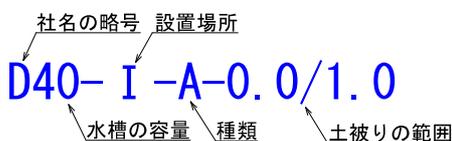
当社の貯水槽は(一財)日本消防設備安全センターの認定製品です。



耐震性貯水槽の型式一覧表

認定番号	型式記号	設置場所	適用土被り
耐一00048	D40-I-A-0.0/1.0	I型	0.0~1.0
	D40-I-A-1.0/1.5	I型	1.0~1.5
耐一00049	D40-II-A-0.0/1.0	II型	0.0~1.0
	D40-III-A-0.0/1.0	III型	0.0~1.0
耐一00050	D40-I-B-0.0/1.0	I型	0.0~1.0
耐一00051	D40-I-B-1.0/1.5	I型	1.0~1.5
	D40-II-B-0.0/1.0	II型	0.0~1.0
耐一96057	D60-I-B-0.0/1.0	I型	0.0~1.0
	D80-I-B-0.0/1.0	I型	0.0~1.0
耐一96058	D60-I-B-1.0/1.5	I型	1.0~1.5
	D60-II-B-0.1/1.0	II型	0.1~1.0
	D80-I-B-1.0/1.5	I型	1.0~1.5
	D80-II-B-0.1/1.0	II型	0.1~1.0
耐一09105	D100-I-B-0.0/1.0	I型	0.0~1.0
耐一09106	D100-I-B-1.0/1.5	I型	1.0~1.5
	D100-II-B-0.1/1.0	II型	0.1~1.0

型式記号について



注：I型とは公園、宅地等自動車の進入が予想されない場所に設置するものをいい、II型とはT-20の自動車荷重が載荷されるもの、III型とはT-25の自動車荷重が載荷されるものです。

設置場所がI型で土被りが1.0m~1.5m範囲はII型、III型の製品を使用します。

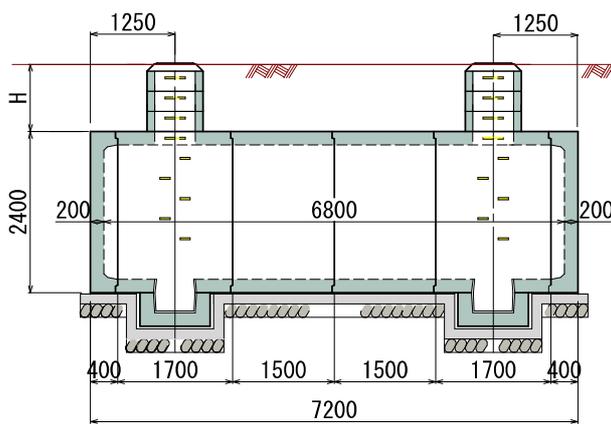
二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

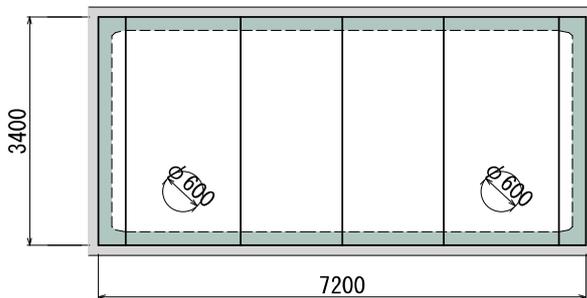
40m A型

外寸法 3400×2400×7200

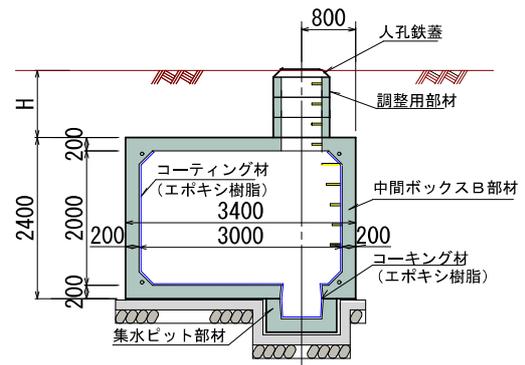
側面図



平面図



断面図



* 吸管投入孔は1個が標準です。

* 内面コーティングはオプションです。

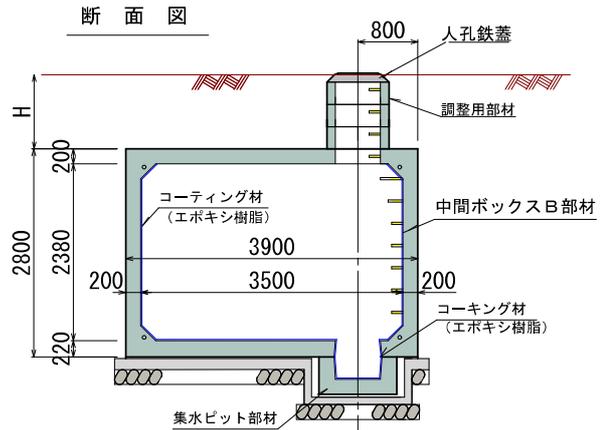
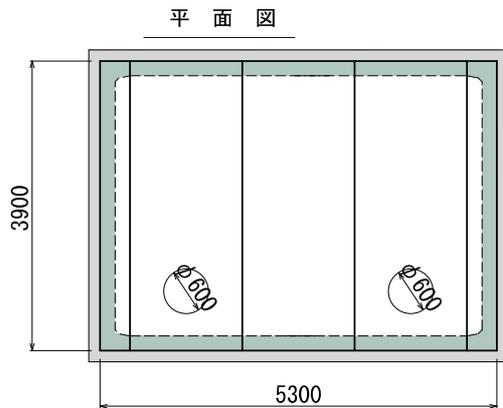
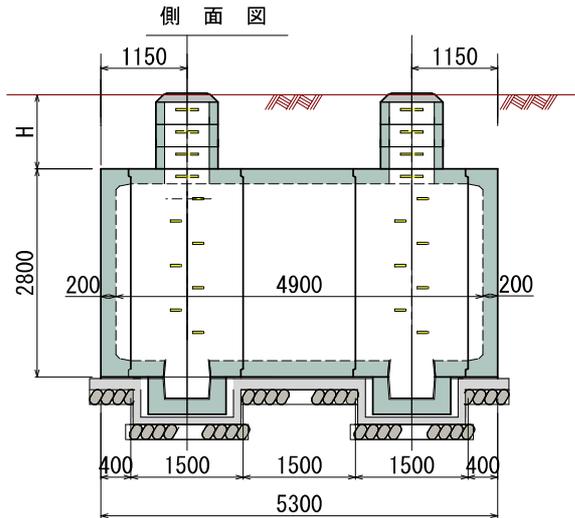
A型耐震性貯水槽組み合わせ表		形式記号	D40- I - A		D40- I II III -A	
		認定番号	耐-00048号		耐-00049号	
種類	規格/m	単価	数量	参考重量 (kg)	数量	参考重量 (kg)
中間ボックスA部材	3.4×2.4×1.5	個	2	8170	2	8290
中間ボックスB部材	3.4×2.4×1.7	個	2	9040	2	9190
中間ボックスC部材	3.4×2.4×1.7	個		9270		9420
端面 A 部 材	3.4×2.4×0.4	個	1	5225	1	5225
端面 B 部 材	3.4×2.4×0.4	個	1	5080	1	5080
集水ピット部材	1.04×1.04×0.5	個	2	1100	2	1100
調整用部材	φ0.6×0.3	個	6	183	6	183
土被りの範囲 H		m		0.0~1.0		0.0~1.0

二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

40m³ B型

外寸法 3900×2800×5300



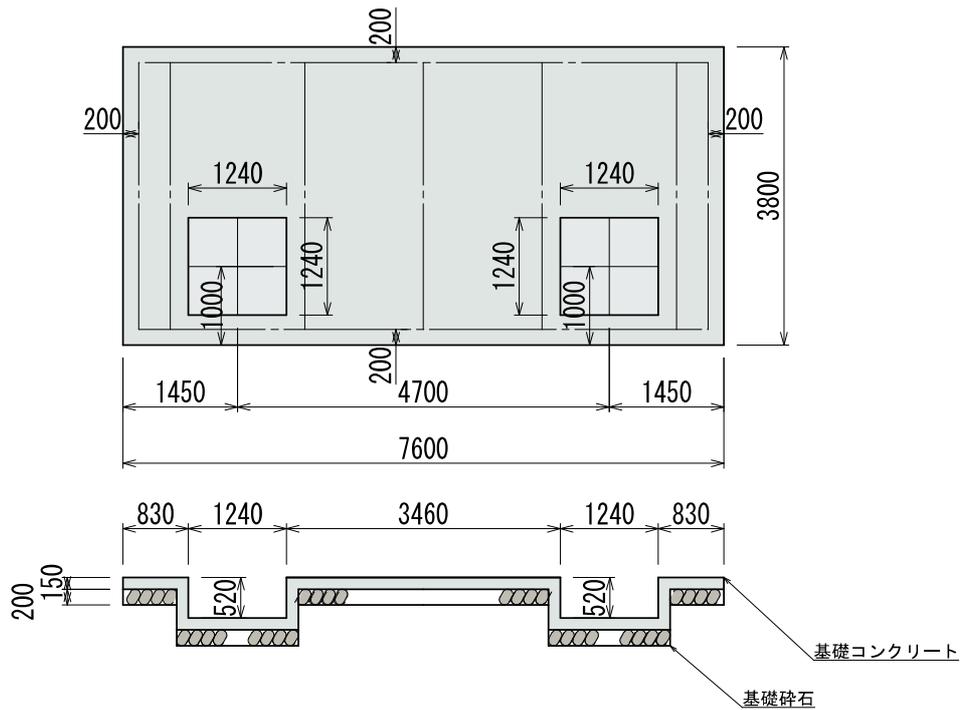
- * 吸管投入孔は1個が標準です。
- * 内面コーティングはオプションです。

B型耐震性水槽組み合わせ表		形式記号	D40-Ⅰ-B		D40-Ⅱ-B	
		認定番号	耐-00050号		耐-00051号	
種類	規格/m	単価	数量	参考重量 (kg)	数量	参考重量 (kg)
中間ボックスA部材	3.9×2.8×1.5	個	1	9815	1	9965
中間ボックスB部材	3.9×2.8×1.5	個	2	9585	2	9745
端面A部材	3.9×2.8×0.4	個	1	6655	1	6655
端面B部材	3.9×2.8×0.4	個	1	6445	1	6445
集水ピット部材	1.04×1.04×0.5	個	2	1100	2	1100
調整用部材	φ0.6×0.3	個	6	183	6	183
土被りの範囲 H		m		0.0~1.0		0.0~1.0

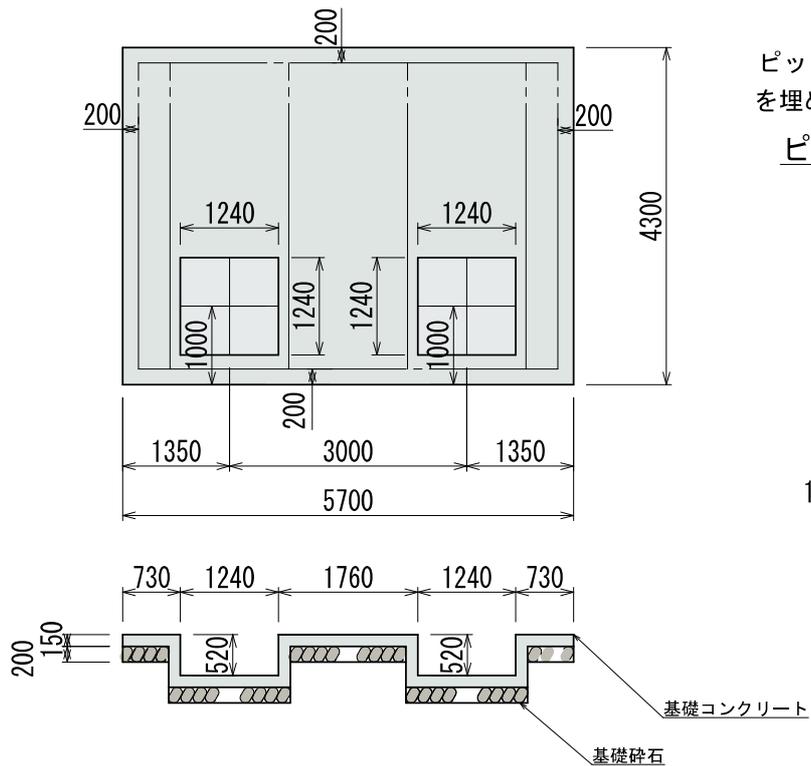
二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

A型：標準基礎図

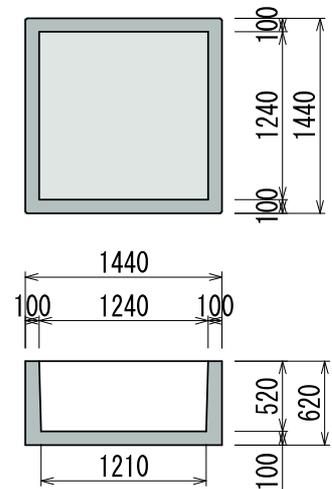


B型：標準基礎図



ピット部に製品（ピット枠）を埋め込む事も出来ます。

ピット枠

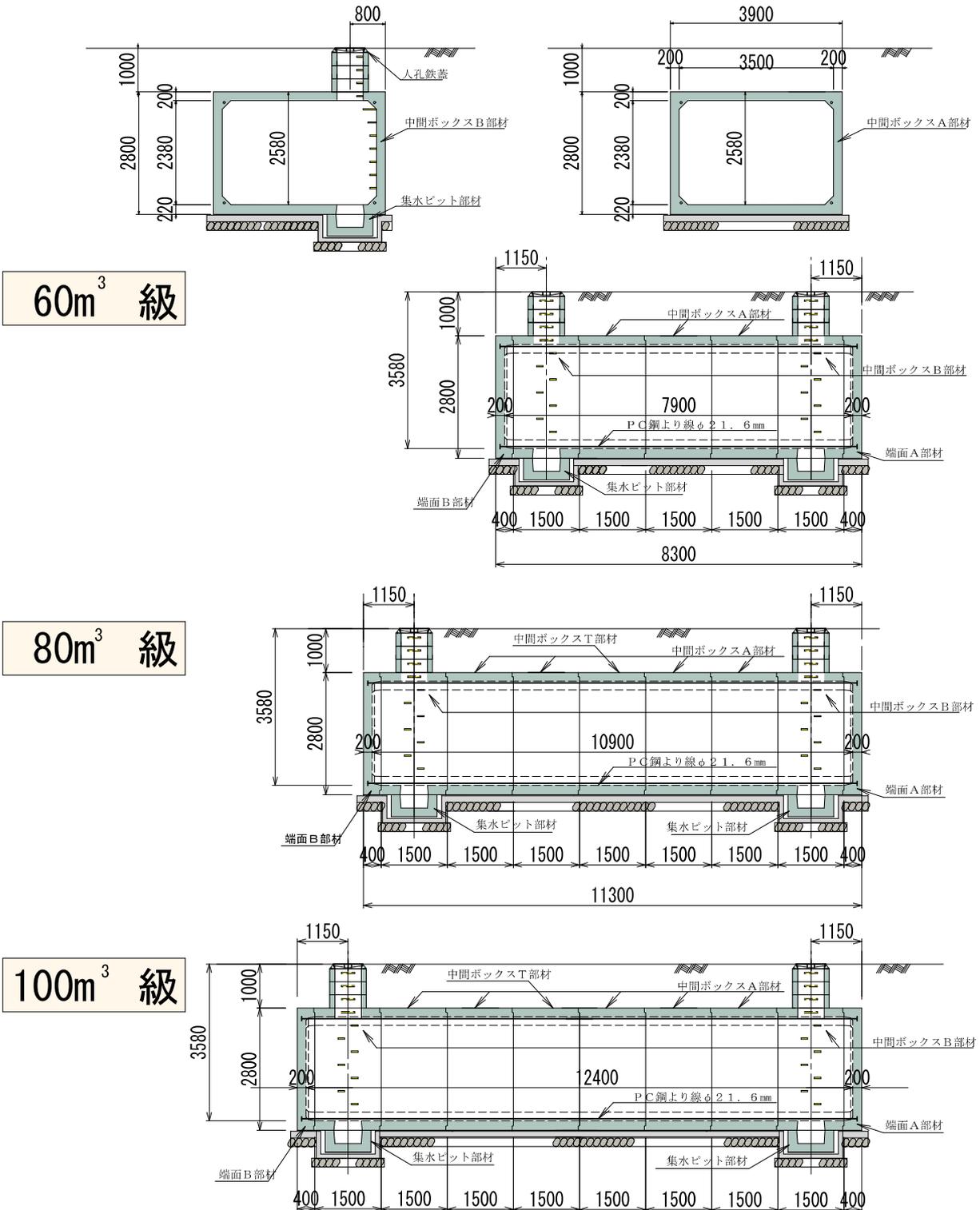


二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

* 部材の組合せにより20m³、60m³、80m³、100m³も対応可能です。

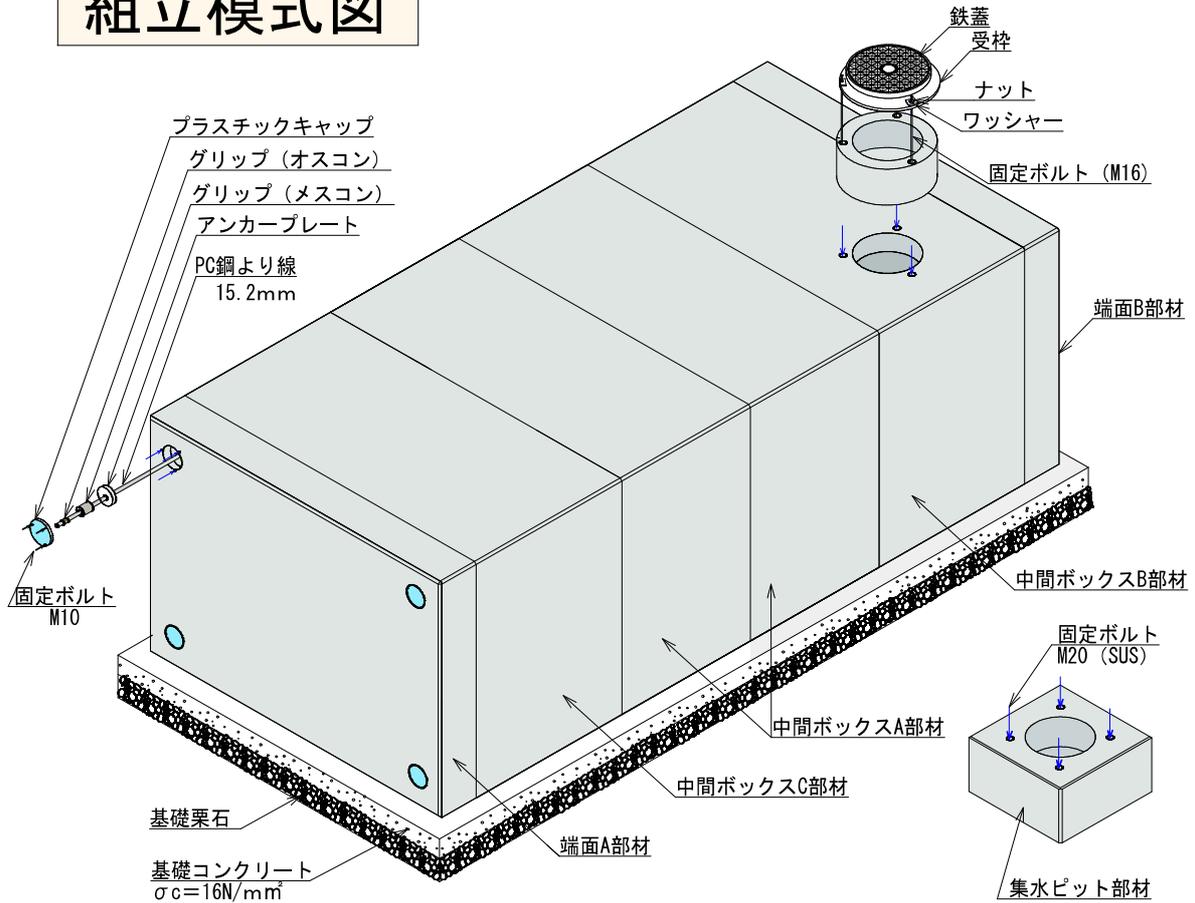
60m³、80m³、100m³は認定製品です。



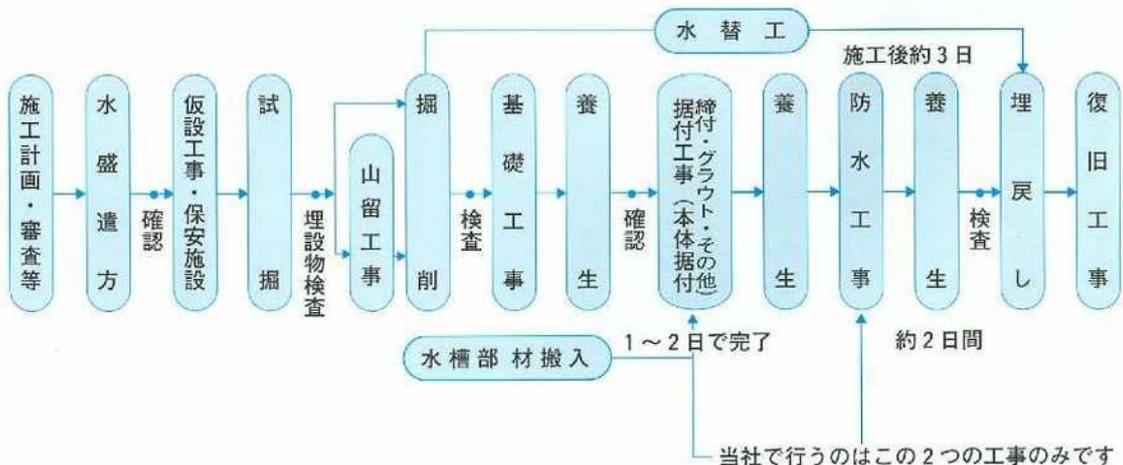
二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

組立模式図



工事フローチャート



二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

施工状況

1. 空練モルタル敷設状況



2. 集水ピット緊結状況



3. 部材据付状況



4. 緊張状況



5. グラウト注入状況



6. 据付完了



7. 止水作業状況



8. 止水完了



9. 完了



施工に関する注意事項

1. 基礎の必要地盤耐力

	D40-I-A-1.0	D40-I-A-1.5	D40-III-A-1.0	D40-I-B-1.0	D40-I-B-1.5	D40-II-B-1.0
土被り厚さ (m)	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0
地盤耐力 (t/m ²)	7.0	8.0	8.0	7.0	8.0	8.0

地盤耐力を満足しない場合は、地盤改良、杭基礎工法等の採用を検討して下さい。

- 基礎コンクリートは製品据付時に所定の強度を確保して下さい。
- 埋戻しは、防水材の所定養生期間を確保し水張り検査終了後に、偏荷重がかからないよう左右均等に行ってください。
- 完成前の防火水槽上には重機の走行や、水槽上での作業はしないで下さい。
- 防火水槽の土被り厚さがA型では0.35m、B型では0.45mを満足しない時に、水槽に水が無い状態では、地下水位が高くなった場合、水槽が浮力により浮き上がる可能性があります。そのような状態が予測される場所では、浮き上がり対策を講じて下さい。